

DE-250

JINBEI デイリーストロボ 250Ws

- この度は当商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- 本書にはご使用に関する大切なご案内が記載されております。本書を良くお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。
- 保証対象品が含まれる場合、別添の保証書を良くお読みになり、本書と共に大切に保管してください。

お届け内容



※お届け内容、スペック等の最新情報は、製品HPにてご確認ください。

各部名称



デイリーストロボDE-250の基本機能

■シンクロ (同調) 発光

カメラのシャッターを押すと同時にストロボを発光させます。オプション品の無線送受信機『TR-A9』、または市販のシンクローケールを利用します (次項参照)。

■スレープ発光

他のストロボの発光をスレープ受光部で感知し、同時に発光させる機能です。スレープボタンで本機能を有効にします (プリ発光未対応)。

■モデリングランプ

モデリングランプをONにすることで、ストロボ発光時に光がどのように被写体に当たるか、どのような影になるかを確認することができます。

カメラとストロボのシンクロ (同調) 発光方法

【方法1】無線機でシンクロさせる

- 1 受信機側のシンクロ端子、電源端子をストロボの各差込口に挿入します。
- 2 送信機をカメラのホットシューに接続します。
- 3 受信機と送信機のチャンネルを一致させます (無線機の取扱説明書を参照)。
- 4 カメラのシャッターを押して、ストロボが発光することを確認します。



●Canon EOS Kiss X10、X90、R50など、X接点のない一部のカメラではご使用いただけません。詳細はカメラメーカーにお問合せください。

【方法2】シンクローケール (非付属品) でシンクロさせる

- 1 ストロボにシンクロコード (非付属品) のミニジャックを差し込みます。
- 2 カメラ側のシンクロターミナル、またはホットシューアダプター (右写真参照) にシンクロコードの端子を差し込みます。
- 3 カメラのシャッターを押して、ストロボが発光することを確認します。



●上記写真のストロボは別機種となりますが、シンクローケール差込口は同様の形状です●シンクロコードを接続する際、ストロボが発光する場合がありますが異常ではありません●シンクロコード使用時、コードに足をひっかけてカメラやライトを倒さないよう十分ご注意ください。

アクセサリ類の装着方法

■ソフトボックス



- ①ソフトボックスを組み立てて*、スピードリングの「マウント固定レバー」を押してロックを解除しながら、ストロボに装着します(写真はストロボMARS-3のものですが、装着方法は同様です。また製造ロットによりスピードリングの形状が異なる場合があります)。
- ②ソフトボックスにディフューザを装着します。
※発光管の破損などに十分注意してください。
*右のQRコード、もしくは各ソフトボックスの商品ページより、組立方法のYouTube動画をご覧ください。



▲DE/DIIシリーズ専用ソフトボックスの組立方法

■アンブレラ



- ①芯径8mmのアンブレラを開き、ストロボのアンブレラ差込口にゆっくりと挿入します(使い始めは差込みが硬い場合があります)。
- ②アンブレラの差込み深さ(ストロボ発光部と傘の反射面との距離)は、光の当たり方、影の出方を見ながら調節してください。

■バードア



- ①ストロボを支えながら、アクセサリ接続部に正面からはめ込む。カチッという音でロックされた事を確認する。
- ②取り外す際は、ストロボを支えながらバードアを閉じた状態でまっすぐ引き抜く。

基本操作・撮影チュートリアルブログのご紹介

※<https://omnivas.jp/category/item/studio-flash/dii-200/>でも下記動画をご覧ください



▲初めてのストロボの使い方



▲シンクろターミナルの無いカメラでストロボを使う



▲ソフトボックスVSアンブレラ!作例で分かるストロボアクセサリ



▲アパレル撮影にオススメ!本格ストロボでシンプルライティング



▲「2万円」vs「5万円」のモノブロックストロボ撮り比べ!どんなライティング?違いはある?



▲200Ws大活躍!ソフトボックスとアンブレラでビューティー系作品撮り



▲サロモ撮影に効く!ストロボライティングの使える小技

ご利用上の注意点

フル発光・満充電での連続使用は、ストロボに過度な負荷をかけます。安全に長く使っていただくため、下記事項を必ずご確認ください。

- ・フル発光は15分の間に50回程度に制限してください。
- ・ソフトボックス使用時は熱がこもりやすくなります。「出力を落とす」「発光回数を減らす」などの対策で、過度な温度上昇にご注意ください。
- ・フル発光を長く繰り返した際は、電源をオフにして10分程度の冷却時間を設けてください。
- ・高出力で長く連続発光を行うことで過熱保護機能が働き、発光不可および各ランプが消灯する場合があります。その際は10-15分ほどの冷却時間を設けることで自動回復します。

その他注意事項

- ◆過度な連続発光はお止めください。コンデンサ過負荷による故障に繋がります◆露出のマニュアル設定が可能なカメラをご利用ください。コンパクトデジカメ、スマートフォン、一部の一眼カメラなどでは本機をご利用になれません◆光源を直接見たり、人物の至近距離で発光させる事は危険です。絶対におやめください◆プリ発光には対応していません。TTLでのシンクろやハイスピードシンクろは出来ません◆直射日光が当たる場所、熱い場所、冷たい場所、湿気や水分が多い場所での運用は絶対におやめください◆無償保証期間は1年間です◆製品の分解・改造は危険ですので絶対におやめください◆分解・改造などの跡がある個体はいかなる理由でも保障の対象外となります◆当機を布等で覆うことはおやめください◆排熱口をふさがないでください◆各部のネジは締めすぎないようにご注意ください。ネジが破損する場合があります◆小さいお子様の手の届かない環境で運用してください◆フラッシュチューブやモデリングランプは素手で触らないでください。また使用後は大変熱くなっています。冷ましてから保管収納してください◆ソフトボックスをご使用の際は熱対策にご留意ください◆ご使用方法や環境次第ではスペック通りの性能が引き出せない場合がございます◆無償保証期間は当製品の耐久性を保証するものではありませんのでご了承ください。